

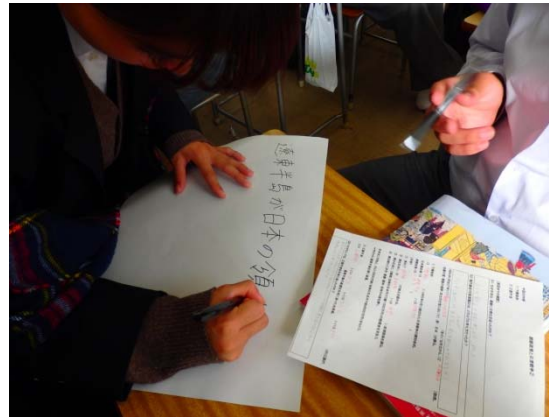
逗葉高校の授業 ー日本史A「下関条約と三国干渉」

11月15日（水）の5限に実施した「公開研究授業」について報告します。

この日は既習の知識を活用して、日本の対外関係について概観し、関係各国の立場等を理解するという目標のもと、授業者が一方的に発問や説明をするのではなく、生徒が自らの力で思考・判断・表現する場面を設定した授業展開となりました。



座学の内容を踏まえた班での話し合い



まとまった意見を自分の言葉で表現



活発に意見を交わす生徒



話し合いの結果を貼り出す生徒



各班の意見を踏まえた授業者の解説



さまざまな視点に立った生徒の意見

生徒は、活発な協議を経て、さまざまな視点の意見をクラス全体で共有し、日本がどのように朝鮮半島を捉え、日清戦争に進んで行ったかを学習した1時間でした。

外部からの来校者は、総合教育センター、近隣中学校、他校職員の4名でした。公開研究授業の後に、外部来校者を交えた研究協議が行われ、「生徒が主体的に学習するための工夫」や「深い学びとは何か」等について、大勢の出席者の実践報告、意見感想が提示され、最後には総合教育センター指導主事の講評をいただき、閉会となりました。

これからも逗葉高校は、「今、求められる力」が身につくような授業を生徒全員に提供できるように授業改善に取り組んでまいります。